

吾妻山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続＞

吾妻山では、5月5日頃から火山性地震が多い状態で経過しており、昨日（9日）に火山性微動が2回発生しました。

また、浄土平観測点（大穴火口の東南東約1km）に設置している傾斜計で、9日17時30分頃から大穴火口方向上がりの明瞭な傾斜変動がみられ、19時50分頃から大穴火口方向下がりに変化し、その後も継続しています。

本日（10日）実施した現地調査では、大穴火口付近とその周辺で熱活動が継続していることを確認しました。

【防災上の警戒事項等】

大穴火口から概ね1.5kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図1、図2）

5月5日頃から火山性地震が多い状態で経過しています。震源は大穴火口付近直下の浅いところと推定されます。

火山性微動は、昨日（9日）22時台と23時台に2回発生しています。火山性微動が観測されたのは2018年12月23日以来です。

・地殻変動の状況（図3）

浄土平観測点（大穴火口の東南東約1km）に設置している傾斜計では、9日17時30分頃から大穴火口方向上がりの明瞭な傾斜変動がみられ、19時50分頃から大穴火口方向下がりに変化し、その後も継続しています。

・噴気など表面現象の状況（図5、図6）

本日（10日）実施した現地調査では、大穴火口付近とその周辺で熱活動が継続していることを確認しました。前回（5月7日）の現地調査と比較してさらなる地熱域の拡大は認められず、噴気等の状況にも特段の変化はみられませんでした。

監視カメラによる観測でも、特段の変化はみられません。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

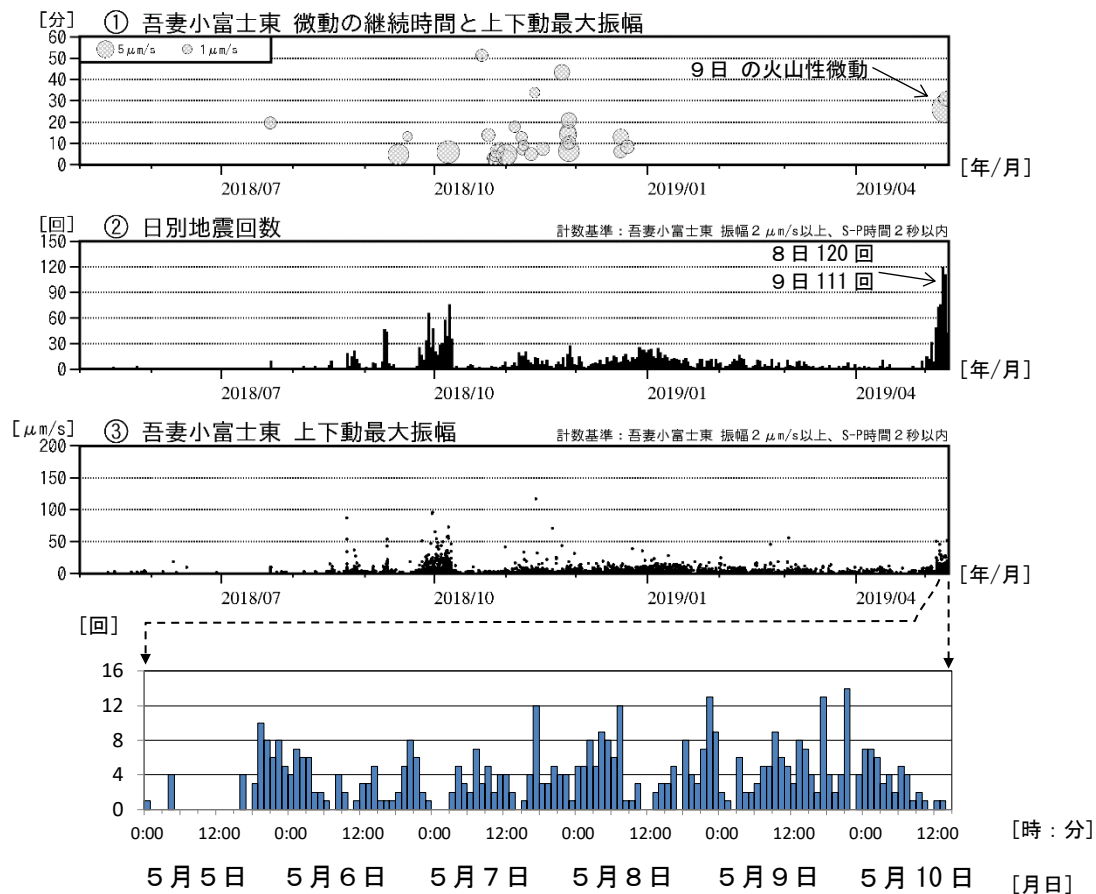


図1 吾妻山 地震回数 (2018年5月～2019年5月10日15時)

・5月5日頃から火山性地震が多い状態で経過しています。

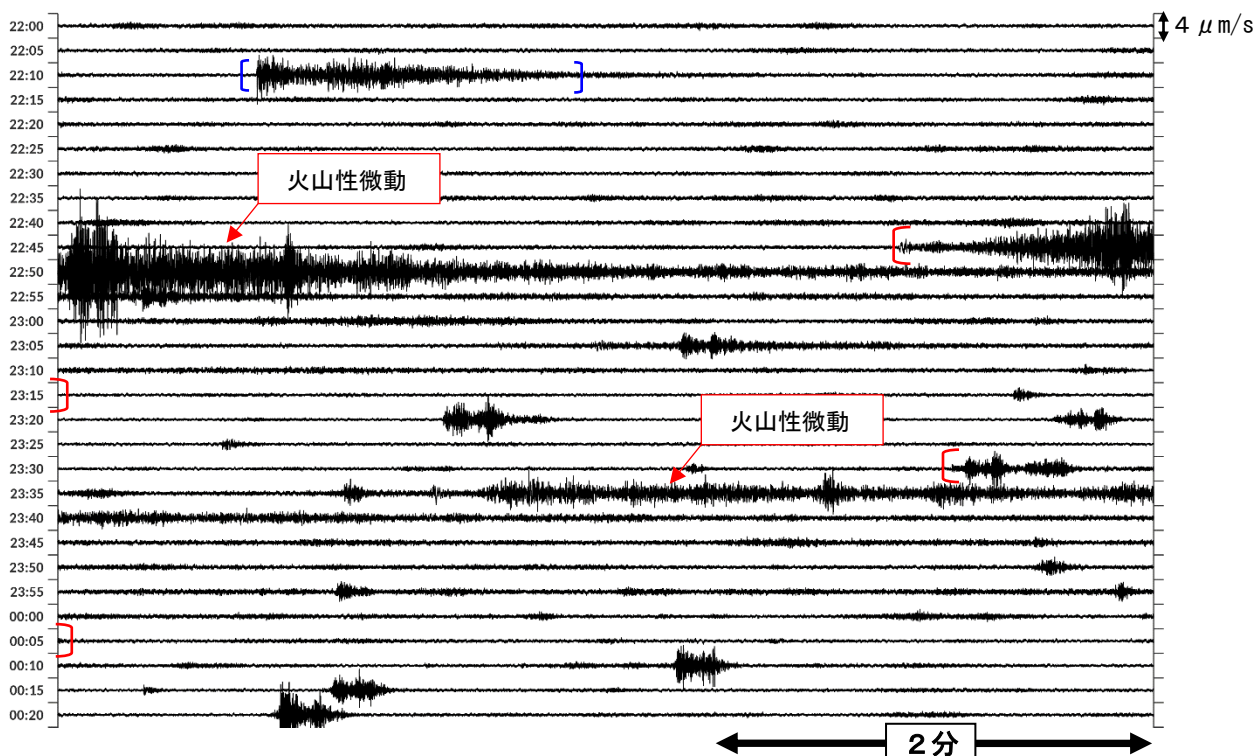


図2 吾妻山 吾妻小富士東観測点(上下成分)での火山性微動と火山性地震の発生状況
(2019年5月9日22時00分～10日00時25分)

- ・[] は火山性微動の発生時を示します。昨日(9日)22時台と23時台に火山性微動が2回発生しました。火山性微動が観測されたのは、2018年12月23日以来です。
- ・[] 吾妻山以外で発生した地震です。

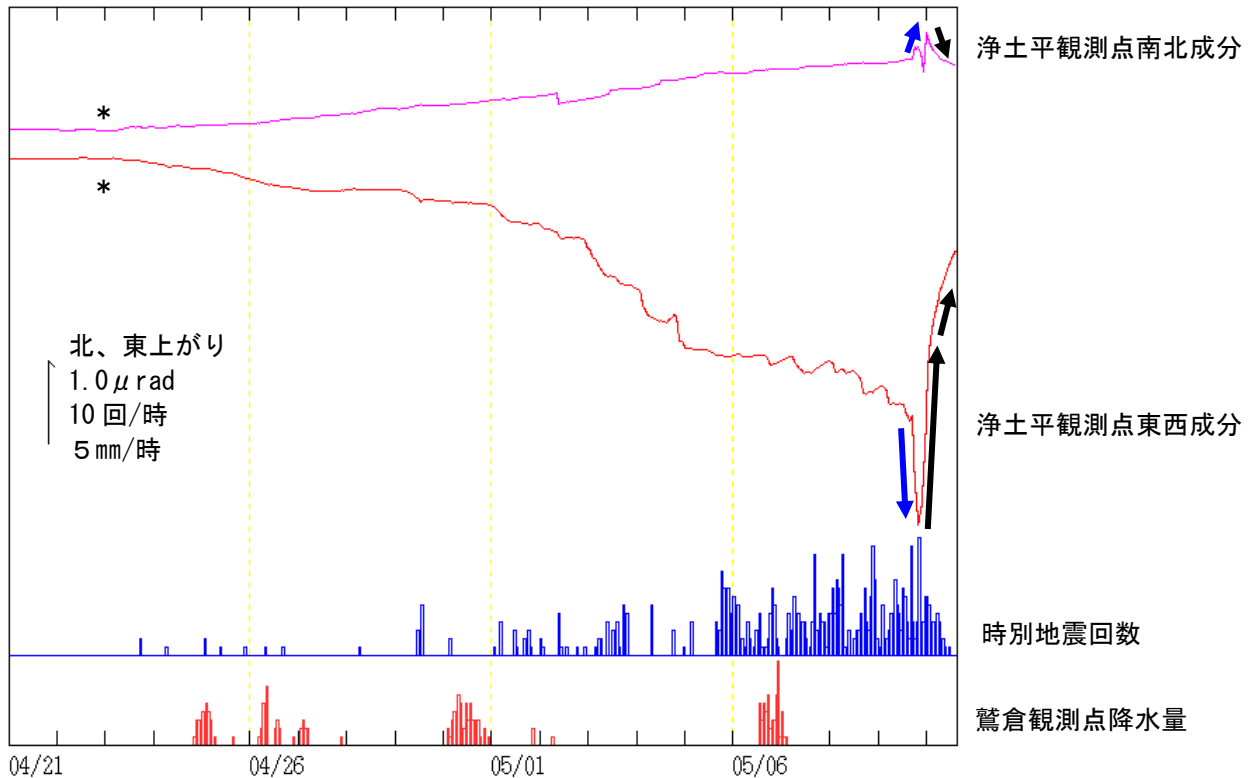


図3 吾妻山 浄土平観測点における傾斜変動

(2019年4月21日～5月10日15時00分、分値、潮汐補正済み)

- ・浄土平観測点（大穴火口の東南東約1km）に設置している傾斜計では、昨日（9日）17時30分頃から大穴火口方向上がりの明瞭な傾斜変動がみられ（青矢印）、19時50分頃から大穴火口方向下がりに変化し、その後も継続しています（黒矢印）。

* 4月下旬頃から融雪の影響によると考えられる北西上がりの変動がみられています。

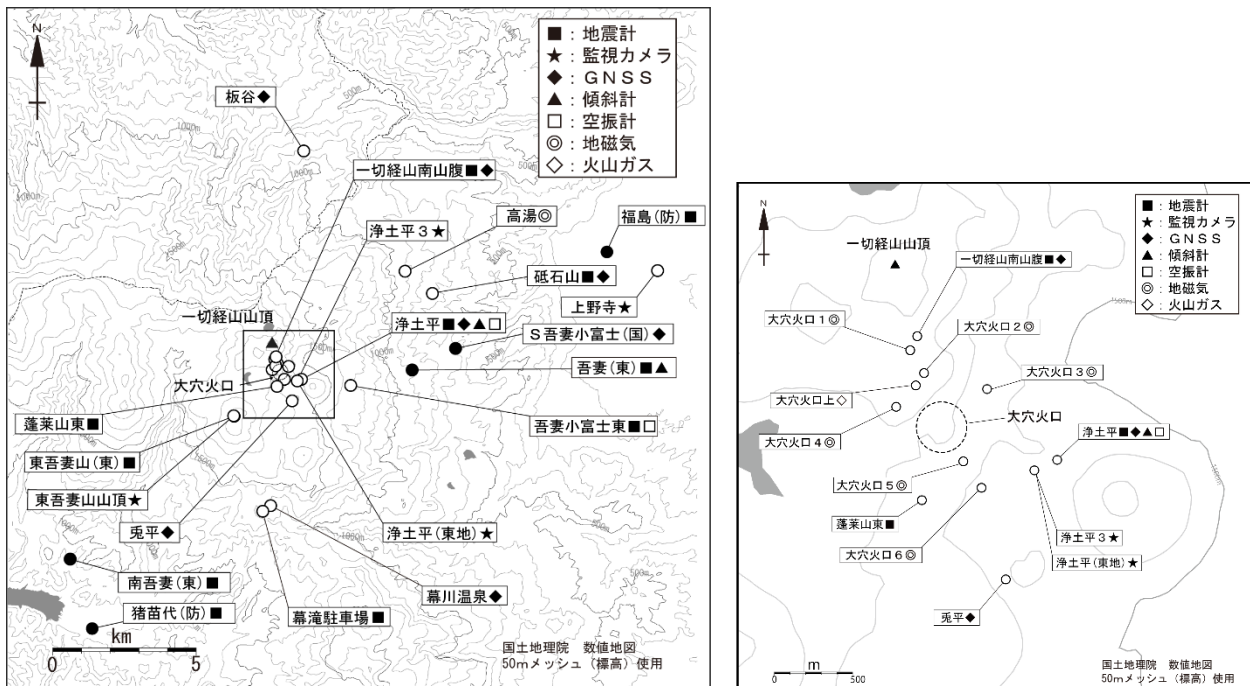


図4 吾妻山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （国）：国土地理院 （東）：東北大学

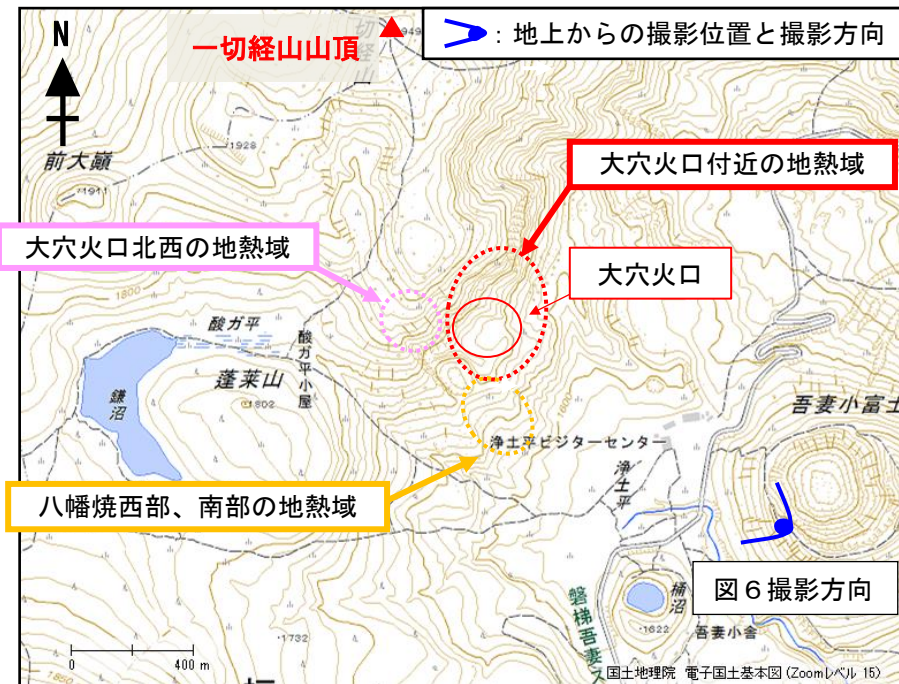


図5 吾妻山 大穴火口周辺の噴気と地熱域の分布及び写真と地表面温度分布撮影方向

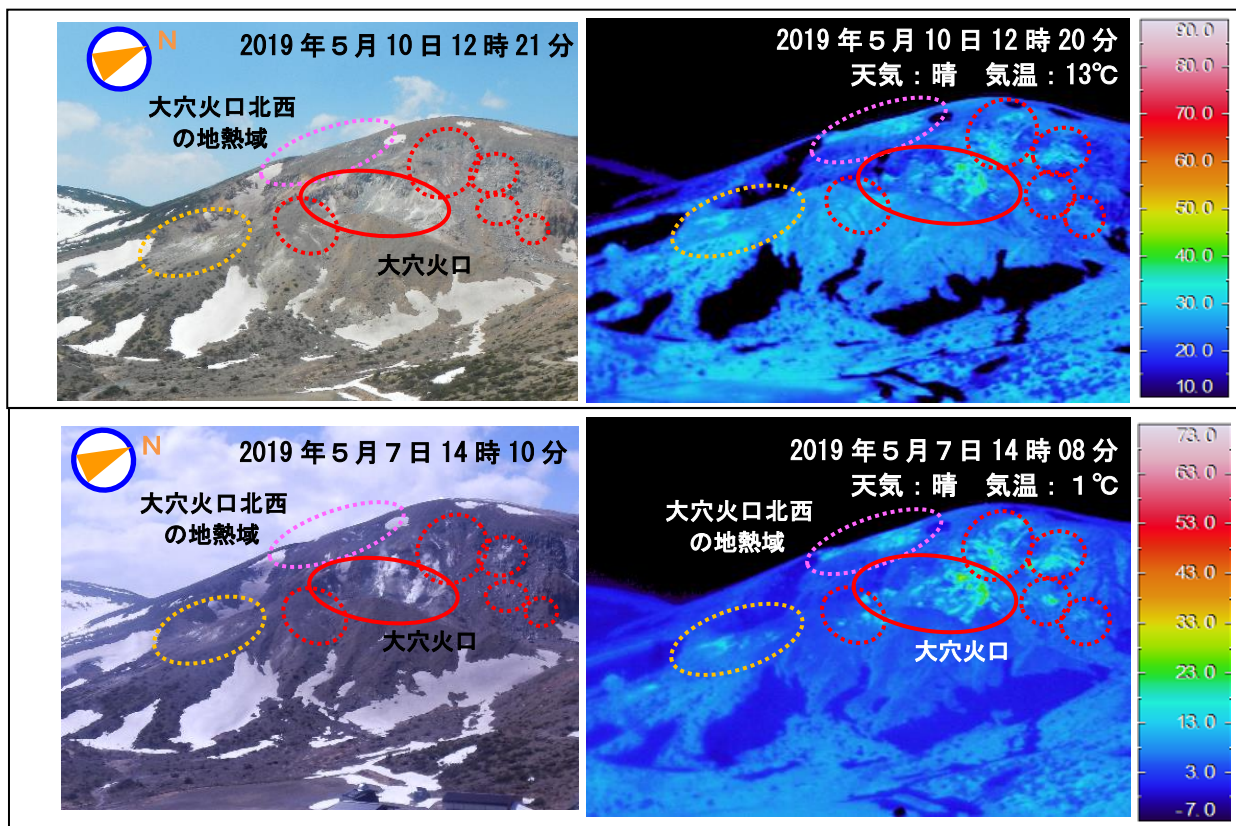


図6 吾妻山 大穴火口付近及びその周辺の状況と地表面温度分布

- ・本日（10日）実施した現地調査では、大穴火口付近とその周辺で熱活動が継続していることを確認しました。前回（5月7日）の現地調査と比較してさらなる地熱域の拡大は認められず、噴気等の状況にも特段の変化はみられませんでした。
- ・図中の破線の色は図5の破線の色に対応します。

※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。